

#### 広島市北部認知症疾患医療センターの業務内容

広島市北部認知症疾患医療センター運営事業者募集要綱(令和5年2月広島市健康福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課)

#### (1) 専門医療相談の業務

- ア 認知症疾患患者・家族等の電話又は面談による<mark>医療相談に応じ</mark>、専門医療に係る情報等を提供するとともに、必要に応じて医療 機関等の紹介・調整を行うこと。
- イ **急性期入院治療を終えた患者が退院して在宅療養できるよう**、広島市内の各区役所地域支えあい課、地域包括支援センター、かかり つけ医等の医療機関等と連絡調整を行うこと。

#### (2) 専門医療機関としての業務

- ア 認知症疾患の初期診断又は鑑別診断を行い、これに基づき治療方針を選定するとともに、必要に応じて入院先を紹介すること。
- イ 認知症疾患の身体合併症と認知症の行動・心理症状の初期診断及び治療(<mark>急性期入院医療</mark>を含む)を行うとともに、連携する医療機 関の空床情報を把握し、必要に応じて急性期入院治療を要する認知症当事者の入院先を紹介すること。

#### (3) 地域連携業務

- ア 認知症サポート医を始めとする保健医療福祉関係者等を対象として、認知症の専門医療に関する知識の向上を図るため、**研修を自ら** 実施し、又は本市(本市からの委託を受けた者を含む)が実施する研修に協力すること。
- イ リーフレット又はチラシ及びホームページ等により市民及び保健医療福祉関係者を対象とした認知症に関する情報発信を行うこと。
- ウ 次の業務(認知症疾患医療連携協議会、地域の医師会との連絡会議等、市民公開講座)は本市が指定したセンターのうち、本市が指 示したセンターにおいて実施するものとする。

#### (4) 診断後等支援業務 いずれか又は両方の取組を行うものとする。

- ア かかりつけ医等の医療機関や地域包括支援センター等の地域の関係機関と連携の上、必要に応じて、診断後や症状増悪時において、 認知症の人や家族における、今後の生活や認知症に対する不安の軽減が図られるよう、必要な相談支援を実施すること。
- イ 既に認知症と診断された認知症の人やその家族による、ピアカウンセリングなどのピアサポート活動を実施すること。

#### (5) その他

- ア 本公募により設置するセンターの名称は「広島市北部認知症疾患医療センター」とする。
- イ センター業務の遂行に当たっては、本市が指定する他のセンター及び広島県が指定するセンター等と十分な連携を図ること。
- ウ 医療相談室に専用の電話及び FAXを1台以上設置するとともに、専用電子メールアドレスを取得すること。

## 認知症疾患医療センターは救急病院

肺炎、腹痛、心不全、脳卒中、がん、痙攣、 骨折、感染症、COVID-19等あらゆる疾患

#### 身体合併症

または

#### 精神症状

暴力、暴言、妄想、徘徊、不穏、徘徊、 抑うつ、拒否、興奮、幻覚、不潔など

#### 広島市北部認知症疾患医療センター

広島市立北部医療センター安佐市民病院 入院**600**人/年

#### に対する**急性期入院治療** と**入退院支援**を行う病院

**広島市西部認知症疾患医療センター** 草津病院 入院**300**人/年

**広島市東部認知症疾患医療センター** 瀬野川病院 入院**100**人/年

安佐市民病院は、気付かないうちに、十数年前から認知症疾患医療センターの役割を果たしている!

他でもやっている

認知症高齢者の

- + もの忘れ外来(脳神経内科)・精神科外来
- 十 社会的活動 市民講座、研修会など 十 医療相談 (高畑、田中)

#### 広島市北部認知症疾患医療センター職員

認知症疾患医療センター兼務職員

センター長	山下 拓史	専任医師	脳神経内科主任部長
センター次長	撰 尚之	専任医師	精神科主任部長
	浜田 祐二		事務長
医師	原田 和歌子	専任医師	内科・総合診療科主任部長
	宍戸 丈郎		脳神経内科部長
	井上 俊一		精神科部長
臨床心理士	岡野 浩二	専任臨床心理技術者	精神科主任技師
	宮森 迪子	専任臨床心理技術者	精神科心理療法士
精神保健福祉士	高畑 法恵	医療相談室常勤専従職員	認知症疾患医療センター
	杉山 香	医療相談室専任職員	医療支援センター
事務員	田中 麻里		認知症疾患医療センター

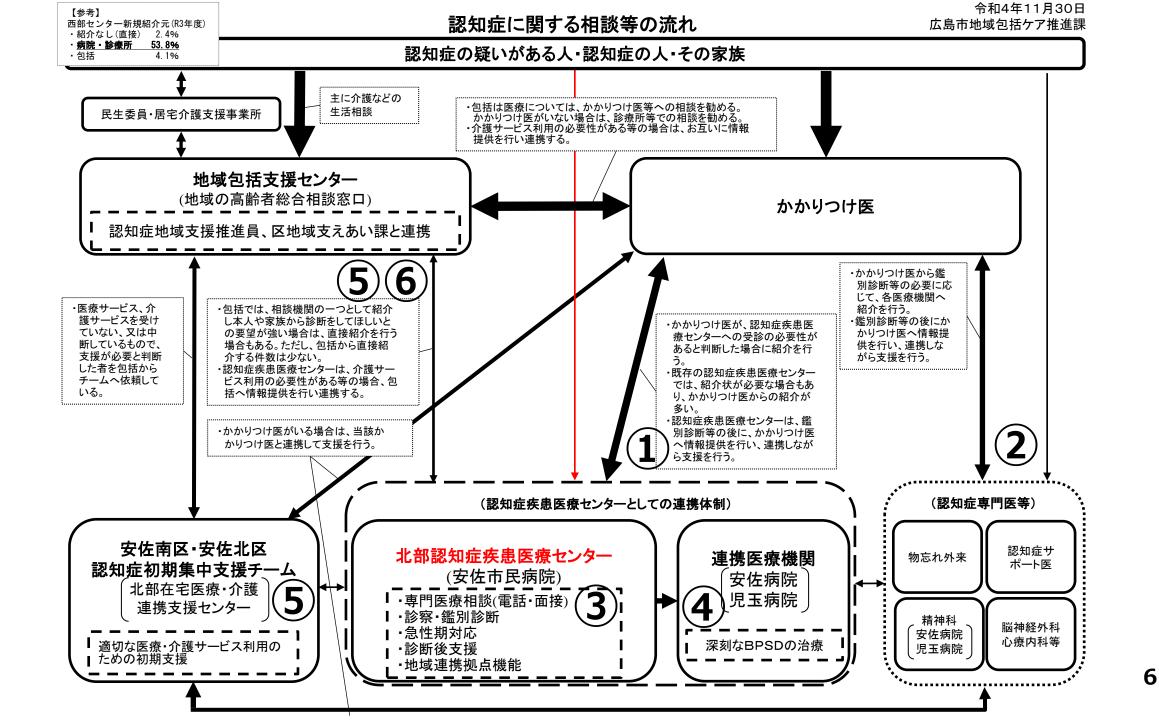
医療支援センター

大橋 美弥子 宗田 知子 藤山 史恵 ほかの皆さん 認知症・せん妄対策チーム 上石 久子 西川 博子 ほかの皆さん

#### 広島市北部認知症疾患医療センター 医療相談 相談者に提示する初期対応プラン

認知症当事者が抱える問題点について整理し、相談者の希望に合う最も適した初期対応プランは ①~⑥のどれかを、広島市北部認知症疾患医療センターで協議し、決定する。

- ① **当院へ かかりつけ医からの紹介受診を勧める**(脳神経内科もの忘れ 外来または精神科外来)
- ② お住いの近くにある認知症専門医・専門医療機関についての情報を提供し相談や受診を勧める(安佐医師会認知症地域連携パス)
- ③ 当院へ紹介状なしでの外来受診を勧める(脳神経内科または精神科)
- ④ BPSDへの入院対応について精神科病院(児玉病院または安佐病院)と協議するので一旦保留
- ⑤ **困難事例 地域包括支援センター**およびオレンジ支援チームと対応を協議
- 6 特殊事例 広島市と対応を協議



#### 鼓 新 誾

電話(082)236-2111(受付案内台

8月22日(火 <sup>発行所</sup> 広島市中区土橋町7番1号 〒730-8677 中国新聞社 中国新聞デジタル

# 新薬

た初の認知症薬となる。 病気の原因物質を除去することで進行抑制を狙っ 見通し。年内にも保険適用される可能性があり、 製造販売承認を了承した。厚労省は近く承認する 病治療薬「レカネマブ 厚生労働省の専門部会は21日、製薬大手エーザ イオジェンが共同開発したアルツハイマ (商品名レケンビ)」の (7・26面に関連記事)

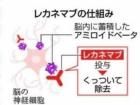
## 年内にも保険適用

新薬となる見込みだが、 ある。患者の6~7割が ある。患者の6~7割が あるが見がされる。レカネマブは待望の はでするとの試算が 人、65歳以上の約5人に 25年に約700万 認知症高齢者数は、2 限られるほか、脳のむく投与対象が早期の患者に

みといった副作用、

に を傷つけているとみられ を傷つけているとみられ を傷つけているとみられ をなンパク質「アミロイドベータ」に結合し除去 ドベータ」に結合し除去 はする抗体の薬で、病気の にするが体の薬で、病気の な薬価による財政圧迫な

る。新たな治療手段としている。新たな治療手段としている。新たな治療における大いでは、一人は、一人が国のアルツハー・ンは、「わが国のアルツハー・ンは、「わが国のアルツハー・ンは、「わが国のアルツハー・ンは、「から、」という。 修飾薬」



の対象になっていた。 日に承認を申請。審査期 日に承認を申請。審査期 日に承認を申請。審査期

メントを発表した。 とのコラ全力を尽くす」とのコ

| 380万円) となった。

米国では7月6日に本

承 認

投与対象はアミロイドベータが脳内に蓄積したベータが脳内に蓄積したベータが脳内に蓄積したを度アルツハイマー病患者と、その前段階の軽度認知障害の人。国内に500万~600万人いるとみられ、エーザイによると、うち1%程度が対象となる見込み。2週間に1回(点滴で投与する。臨床試験(治験)では症状悪化を77%抑制し、強行を遅らせる効果が認められた。一方で脳のむ

の使用も了承された。 を受けられるよう診断薬 を受けられるよう診断薬

時間延長した。軽度認知

厚勞省部会 進行抑制 https://www.chugoku-np.co.jp

り議論が集中、予定を1の管理や適正な使用を巡りませるでは、副作用を巡りませる。

#### I ザ 1 認知症新薬

# 兆円販売

る。投与対象の早期アル業績の拡大期待が出てい 2億3千万人に達する2 030年度には新薬の世 ツハイマー カネマブ」の普及により イマー ・ザイは、 病治療の新薬 病患者数が約 アルツハ

界売上高が1 だ。 (1面関連)給体制を整備する方針 薬品情報を提供する担当 は承認を踏まえ、 与の支援業務に就き、 者など700 上ると予想する。日本で 北円規模に 以上が投 医師に

進行を遅らせる効果が認 に1回、点滴で投与する。 象となる見込み。 症状悪化を27%抑制 投与対象はア タが脳内に蓄積 その前段階の軽度 00万-一方で脳のむ (治験) -%程度が対 ò イマ 110 ザ 国内に5 2週間 イによ 病患 いる した 障害の 層撮影 380万円) は年2万6500% 承認され、 を受けられるよう診断薬 時間延長 用が報告された。 の使用も了承された。 り議論が集中、 みや 管理や適正な使用を巡 米国では7月6日に本 専門部会では、 PET) 出血など が陽電子放射断 た。 標準的な価格 となった。 予定を1 軽度認知 副作用 の副作 の検査

ると、

うち

とみられ、

00万

6

軽度マ

者と

認知障害の

められた。

臨床試験

2023年6月14日成立

### 認知症基本法を遵守した高度先進医療

	広島大学 病院	県立広島 病院	広島市民 病院	当院	呉医療 センター
救命救急センター	0	0	0	0	0
がん診療連携拠点病院	0	0	0	0	0
認知症疾患医療センター				0	
PET がん、アルツハイマー (12月)	0			0	0

広島市北部認知症疾患医療センターは**「次世代型の認知症疾患医療センター」** を目指します。**今後ともどうぞよろしくお願いいたします。** 

8